

令和7年度 第4回旭市部活動地域移行推進協議会 議事報告

1 期 日 令和8年2月19日(木) 開会 午後2時30分 閉会 午後4時30分

2 場 所 旭市役所本庁舎3階 政策決定室

3 出席者 加瀬 政美 (旭市スポーツ協会副会長)
大橋 誠治 (旭市スポーツ推進委員協議会)
柏木 雄裕 (NPO 法人スポーツアカデミー)
平野 茂子 (旭市文化協会事務局次長)
渡辺 晃 (旭市立第一中学校長)
齊藤 実 (旭市立第二中学校長)
奥住 浩基 (旭市立海上中学校長)
大目 智志 (旭市立飯岡中学校長)
溝口 洋樹 (旭市立干潟中学校長)
岩瀬 忠久 (旭市立第二中学校教諭・吹奏楽部代表)
山口 泰弘 (旭市 PTA 連絡協議会顧問)
向後 依明 (教育長)
飯島 正寛 (教育総務課長)
遠藤 忠義 (教育総務課学校教育指導室長)
江波戸政和 (生涯学習課長)
林 甲明 (スポーツ振興課長)

4 開会
・傍聴者 なし

5 会長あいさつ

6 報告事項
・三市担当者会議について(教育総務課:丸山)
・地域クラブ活動保護者説明会について(生涯学習課:岡野)
・モデル事業アンケート結果および考察について(生涯学習課:岡野 スポーツ振興課:境)

7 議題(協議事項)

令和8年度の休日部活動地域移行に向けて

- (1)休日部活動の地域移行スケジュール進捗状況とこれからについて(教育総務課:丸山)
- (2)休日部活動地域移行に伴うその他の検討課題について(地域クラブ事務局:岡野)
- (3)令和8年度のACC(地域クラブ事務局)運営の一部業務委託について(地域クラブ事務局:岡野)

○配付資料に基づき、事務局より説明

(1) 休日部活動の地域移行スケジュール進捗状況とこれからについて 説明

- ・今年度進めてきた内容について説明後、今後の予定を確認。
- ・新規で3月に、教職員への現段階の意向調査を実施する予定。(地域クラブ指導者の把握)
- ・4月以降に、生徒に意向調査と指導者公募をする旨を説明。
- ・9月までの進め方について、ご質問、ご意見があれば伺いたい。

(委員より)

- ・3月に教職員向けに意向調査を行うということだが、一般の方の公募はどのように考えているか。

(回 答)

- ・教職員に関しては以前一度アンケートを取っている。そのアンケートで、指導者を「行いたい」・「迷っている」と回答してくれている方に再度確認する考えである。期間も空いているので、意向が変わっている場合がある。また、教職員には異動も伴うので、そのあたりも踏まえた意向調査をし、地域クラブ指導者になってくれる方の人数を把握する予定。その後、おおよその見通しが立てば、地域指導者の必要数も見えてくると考えている。(一般公募後に、指導者数が多く、配置できないという状況にならないように現状を把握しておきたい。)

(委員より)

- ・地域の方にも、指導者を考えている人がいると思うが、どのように応募すればよいのか。

(回 答)

- ・市 HP や広報あさひ(3月号)に地域移行に関する記事を掲載する予定なので参考にしていただきたい。また、4月以降に一般公募予定だが、こちらも HP で周知することになる。

(委員より)

- ・同じ競技種目で、クラブ加入希望者が多かった場合には、いくつかのチームを作るのか。

(回 答)

- ・4月に行う生徒の意向調査で実態を把握する。希望者が多ければ、現在の陸上競技を3クラブ展開としているように、複数のクラブを作る。その逆に減らすことも考えられる。

(委員より)

- ・人数が多く、クラブを分ける必要が出てきた場合は誰が音頭を取るのか。自分たちで話し合わせるのか。

(回 答)

- ・地域クラブ事務局で行う。ただし、現在のソフトテニスや陸上競技のように、リーダーになってくれる人材を各競技で探す必要があると考えている。そのリーダーと連携を取りながら進めていくことがよいと考えている。

(委員より)

- ・9月以降、休日部活動が地域クラブに代わる予定だが、大会参加は学校部活動となると、これまで同様、練習試合等を部活動で行うケースもあると考えられるが、地域クラブとの共存について、内規等を設ける必要があるのではないか。

(回 答)

- ・内規は必要だと考えている。今後詳細を検討していく。

(委員より)

- ・4月に生徒・保護者に参加の意向調査をするということだが、いくら経費がかかるのかなど具体的な話を伝えたくて調査をしたほうが良い。
- ・現在行っている陸上競技とソフトテニスだけ先行実施になるという形は避けてほしい。

(回 答)

- ・意向調査を実施する際は、会費やどこで実施するのか、だれが指導者なのか等も示せるようにしないと、子どもたちも選べないと考えている。あわせて、指導者募集についても、報酬面や活動場所、対象なども伝えないといけないと考えている。
- ・陸上競技とソフトテニスの先行実施についてだが、そうならないように一気に進めていきたい。

(2)休日部活動地域移行に伴うその他の検討課題について(地域クラブ事務局:岡野)

(3)令和8年度のACC(地域クラブ事務局)運営の一部業務委託について(地域クラブ事務局:岡野)

- ・旭市における休日部活動の終了時期について
→運動・文化部活ともに、令和9年3月までではどうか。
- ・ACC(地域クラブ事務局)の業務一部を業者委託する予定。
- ・直営クラブの業務内容及びクラブの実施要件を説明。
- ・認定クラブについての説明。

(司 会)

- ・クラブが立ち上がらなかったら、子どもたちは活動場所がなくなるということか。これは、すごく大きなことだと思うがいかがか。

(委員より)

- ・まだ土日が進んでいない段階で休日部活動をやめると言うのはどうなのか。国からも地域移行に関しては少し猶予が出てきている。他地区の様子を見ながら慌てずに進めるでよいのではないか。

(委員より)

- ・令和10年9月に伸ばしてもよいのではないか。令和9年3月だと、現中1の生徒が3年生の時に、4月から休日部活動ができないという形になる。今の小学校5年生が来年6年生になったときにこれを知る形になれば、中学の部活動を選ぶ基準になるのではないか。ただし、令和10年の9月まで延ばすとすると、受益者負担の部分で不公平感が出てくるので、判断は難しい。

(委員より)

- ・令和9年3月で、休日の活動をやらないということだが、学校単位で大会に出るのもここから先はなしで、地域クラブで出場するという解釈でよいか。

(回 答)

- ・大会参加に関しては、今のところ学校部活動で出場することを考えている。ただし、協会主催の大会や練習試合については、検討する必要がある。

(委員より)

- ・休日部活動を地域移行した実態が、現段階では見えていない中で、令和9年3月にやめてしまうと切り切るの早いと感じる。もう少し時期を置いてから伝えるでよいのではないか。

(委員より)

・業者委託を考えているということだが、どんな業者を考えているのか。信頼できる業者なのか。

(回 答)

・プロポーザルをかけて業者選定をしていく。

(委員より)

・資料には受益者負担額を 3,000 円程度としているがその根拠は何か。

(回 答)

・部活動のクラブ運営事業の全体の事業費に対して、国、県、市、受益者の負担で、バランスよく負担をするということが国の方からも示されており、それを考慮した中で 3,000 円程度と出している。

(委員より)

・指導者が足りない場合は、この業者が指導者を探すこともするのか。

(回 答)

・業務内容には入っているが、他市の現状を聞くと、相当厳しいようだ。旭市としては、指導者確保の部分は、地域クラブ事務局のほうで、ある程度の確保を進め、4 月の指導者公募につなげたいと考えている。

(委員より)

・この業者委託に、予算はどのくらいかかるのか。

(回 答)

・2,000 万円前後である。

(委員より)

・運動系の業者だと聞いたが、文化系の指導者も探してくれるのか。

(回 答)

・基本的にはまず、事務局の方で探していくことを考えているが、相談をした上で業者の方で確保できるのであれば確保していただく。また、県の方の人材バンクもあるのでそちらも活用していく。

(委員より)

・「直営ACC部活動」のような形はどうか。平日の部活動は、全顧問で対応し、土日の直営ACC部活動については、やりたい教職員がやる。平日は特殊業務手当、休日は、地域クラブ同様受益者負担の形にすれば、地域に直営クラブができなくても、活動できるのではないか。そうすれば、わざわざ遠くに行かなくても活動可能となる。

9 参加者より一言

10 諸連絡 ・次回会議日程 令和8年5月19日(火) 午後2時 30 分から

11 閉会